

満年齢統一法の施行(2023 年 6 月 28 日)

・6 月 28 日より「満年齢統一法」が施行

・誕生日以降は、現在の西暦から生まれた年の西暦を引く / 誕生日以前は、さらに 1 を引く

☞「満年齢」の計算 <https://www.moleg.go.kr/menu.es?mid=a10111060000>

1. 「満年齢」は、どのように計算しますか？

☞「満年齢」は、生まれた日を「0 歳」と数え、誕生日を迎えるたびに 1 歳ずつ加えていく方法で計算します。

つまり、全員が 1 月 1 日に 1 歳を加えるのではなく、それぞれの誕生日に 1 歳を加えます。

誕生日を迎えていない場合は、「現在の西暦－生まれた年の西暦－1」

誕生日を迎えている場合は、「現在の西暦－生まれた年の西暦」(誕生日当日の 0 時に 1 歳加算)

2. 就学義務年齢に変化はありますか？

☞変化ありません。小・中等教育法に基づき、これまでと同様に、満 6 歳となった日が属する年の翌年の 3 月 1 日に入学します。

3. 国民年金の受領期間、基礎年金の受給時期、公務員の定年などに変化はありますか？

☞変化ありません。現行の法令がすでに満年齢を基準としており、満年齢への統一による変化はありません。

現在も法令上の年齢は、特別な定めがない限り、満年齢を基準としています。

4. 住民登録証や運転免許証など、過去に発行された証明書は有効ですか？

☞変化ありません。現行の法令がすでに満年齢を基準としており、満年齢への統一による変化はありません。

現在も法令上の年齢は、特別な定めがない限り、満年齢を基準としています。

5. 「年年齢」とは何ですか？

☞「年年齢」とは、一部の法令に取り入れられている年齢計算方法のことで、個々の誕生日に関係なく、「現在の西暦－生まれた年の西暦」で年齢を計算します。

青少年保護法や兵役法など一部の法令に取り入れられている方法ですが、国民の便宜を図るために、年年齢の適用がやむを得ないと考えられる分野を除き、満年齢に統一していく計画です。

6. ***法に「60 歳」と定められていますが、これは、満年齢、年年齢、韓国式年齢のどちらに該当しますか？

☞年年齢を満年齢に変更するためには、各個別法の整備が必要であるため、満年齢統一法の施行によって直ちに年年齢の基準が変わるわけではありません。

特に、従来の年年齢の基準を変更するためには、十分な検討と国民の意見を聴取するなどの手続きを行う必要があります。したがって、今年の上半期中に研究用役や意見調査を実施し、関係部処との協議を経て今年末までに整備案を策定し、整備を進めていく予定です。

ただし、関係部処との協議によって迅速な整備が可能な法令については、速やかに改正案を取りまとめる計画です。

7. 満年齢統一法の施行によって実質的に変わるものは何でしょうか？

- ☞ 民事分野や行政分野の基本法である民法や行政基本法に満年齢の計算・表示の原則が明記されたことで、これからは契約書、法令、条例などで使用される年齢については、特別な定めがない限り、満年齢を基準とすることが国民に明確に示されました。

これによって、これまで年齢基準の混用により発生していたさまざまな紛争や苦情が大きく解消されるものと期待されます。

*出所：大韓民国政策ブリーフィング(www.korea.kr)

*この情報は、2023年6月23日現在のものです。

*翻訳：ソウル外国人住民支援センター 02-2229-4907 (2023年6月26日)

*ご相談＆お問い合わせ：ソウル外国人住民支援センター 02-2229-4900